

■グローバル化に対応した活力ある社会の構築

◎地域の特性に応じた魅力的なまちづくり

まちなか居住のための住宅など持続可能なコンパクトなまちづくりや下水道施設の改築更新など環境に配慮した地域の特性に応じたまちづくりの推進

主な要望箇所

●持続可能なコンパクトなまちづくり

- ・ 中心市街地に安心とにぎわいを創出するまちなか居住の推進
【道営住宅：(仮称)啓南団地(滝川市)、市町村営住宅：堀川団地(釧路市)など】
- ・ 魅力ある地域景観を創出する街なみ環境整備の推進
【鴛泊市街地地区(利尻富士町)、都市景観形成地域(函館市)など】
- ・ 既存公営住宅の建替や長寿命化などによる良質な住宅ストックの形成
【道営住宅：大麻宮町団地(江別市)、市町村営住宅：西団地(美深町)、緑丘団地(赤井川村)など】
- ・ 地域経済や環境負荷低減に寄与する良質な民間住宅の整備普及推進
【地域住宅政策推進事業(道内全域)】
- ・ 空き家等対策の推進
【空き家再生等推進事業・空き家対策推進事業(道内全域)】
- ・ 中心市街地・商店街の活性化を目指したまちづくりの推進
【1・7地区優良建築物等整備事業(旭川市)など】

●環境に配慮したまちづくり

- ・ 下水道施設の改築更新の推進
【石狩川流域(滝川市ほか)、函館市、小樽市など】
- ・ 合流式下水道の改善の促進
【滝川市、士別市、千歳市など】
- ・ 普及率の低い町村部の下水道の整備
【岩内町、足寄町、木古内町など】
- ・ 下水汚泥処理施設の集約化及び減量化施設の整備推進
【余市町など】

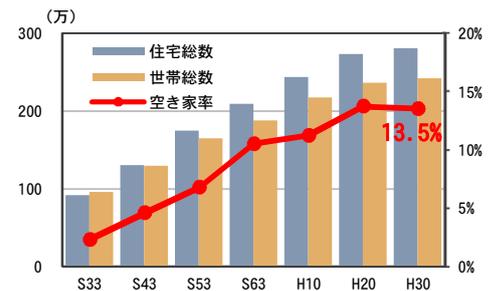
【中心市街地に安心とにぎわいを創出するまちなか居住の推進】

▼であえーる宮下東団地(旭川市)



【空き家等対策の推進】

◆道内における空き家の現状



出典：住宅・土地統計調査(総務省)

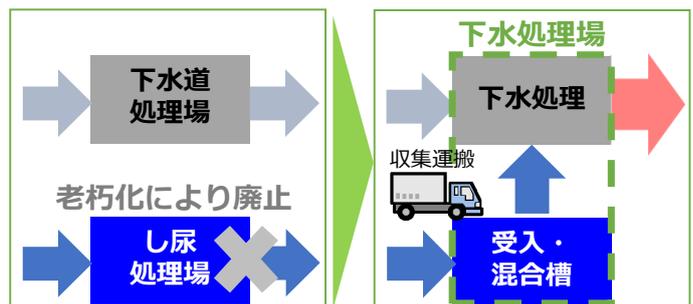
【下水道汚泥処理施設の集約化及び減量化施設概要図】

MICS事業導入による効果事例
(十勝川流域下水道事業 2018年4月導入)



し尿処理施設の改築・更新 MICS事業

○し尿受入れ施設の整備



■豊かな自然環境の保全と安全・安心な環境づくり

◎誰もが安心して暮らせるまちづくり

子育てに配慮した公営住宅など安心して子どもを産み育てることができる環境づくりやユニバーサルデザインの視点に立った人にやさしいまちづくりの推進

主な要望箇所

●子育て支援住宅の普及促進など安心して子どもを生み育てられる環境づくり

・子育て支援の充実を図る公営住宅の整備

【道営住宅：であえーるまほろば第二団地（余市町）、市町村営住宅：高栄F団地（北見市）など】

・公園施設の改築更新による安全で安心して利用できる、魅力ある公園の整備

【北海道子どもの国（砂川市）、ゆめの森公園（中標津町）、
室蘭市都市公園ストック再編事業（室蘭市）など】

●ユニバーサルデザインの視点に立った人にやさしいまちづくり

・子どもからお年寄りまで安心して暮らせる住まい・環境づくり

【市町村営住宅：東町たいわ団地（室蘭市）、東中団地（中標津町）など】

・幅の広い歩道や段差のない歩道の整備

【深川雨竜線（深川市）、停車場通（伊達市）、旭大通（苫小牧市）など】

・民間住宅を活用した住宅セーフティネットの推進

【民間住宅等関連事業（道内全域）】

●安全で安心な道路交通環境の整備

・幹線道路や通学路等における交通安全対策の推進

【国道230号喜茂別事故対策（喜茂別町）、士幌上士幌線（士幌町）、

交通安全対策（地区連携）旭町・大町地区（旭川市）、基線通（恵庭市）、文教通（函館市）など】

・地域の医療を支える交通ネットワークの整備

【江差木古内線（上ノ国町・木古内町）など】

【公園施設の改築更新による安全で安心して利用できる、魅力ある公園の整備】

▼北海道子どもの国（砂川市）



▼里見が丘公園（足寄町）



▼ゆめの森公園（中標津町）



※道立ゆめの森公園HPより

【通学路における交通安全対策の推進】

▼士幌上士幌線（士幌町）



歩道幅員狭小区間の通学状況

【地域の医療を支える交通ネットワークの整備】

▼江差木古内線（木古内町）



三次救急医療施設：市立函館病院
二次救急医療施設：函館中央病院

江差町、上ノ国町から函館市内の病院へ多くの通院者がいるため、年間を通じた安全な走行性の確保が必要となっている。

地理院タイルに追記して掲載

すれ違い困難な道路状況

【幹線道路や通学路等における交通安全対策の推進】

▼当別浜益湊線（当別町）

整備前



整備後



【子育て支援住宅の整備】

道営住宅であえる常盤団地（北見市）



団地集会所で行われる子育て支援サービス

子育て世帯の定住促進に配慮した整備



町営住宅かみあつまきらりタウン団地（厚真町）



子育て世帯に配慮した間取り



子育て支援施設（厚真町）



資料：厚真町ホームページ

【ユニバーサルデザインによる公営住宅】

市営住宅まちなか幸団地（紋別市）



◆車椅子でも使用可能な流し台



◆介助しやすい広さや車いすでの使用に配慮した洗面所



体勢を保持するためのL字型手すりの設置
取り外し可能な間仕切（身体状況の変化に応じて介助スペースの確保を可能とする多様性への対応例）

◎誰もが安心して暮らせるまちづくり

冬期交通確保のための除排雪の充実や地吹雪・雪崩対策など冬期における安全で快適な道路交通の確保

主要要望箇所

●冬期における安全で快適な道路交通の確保

- ・冬期交通確保のための除排雪の充実
【道内全域における除排雪の充実、雪寒機械の更新・増強（小樽市など）】
- ・鉄道駅周辺・中心市街地・通学路などを中心とした歩道除排雪の充実
【道内全域】
- ・冬期を踏まえた歩行空間の確保のための広幅員歩道の整備
【東川東神楽旭川線（東神楽町）など】
- ・地吹雪・雪崩対策など、冬に強い道路施設等の整備
【国道44号根室防雪（根室市）、国道238号紋別防雪（湧別町・紋別市）、江別奈井江線（新篠津村）、八雲北檜山線（八雲町）、稚内幌延線（稚内市）、小向元紋別線（紋別市）、湧別停車場サロマ湖線（湧別町）など】

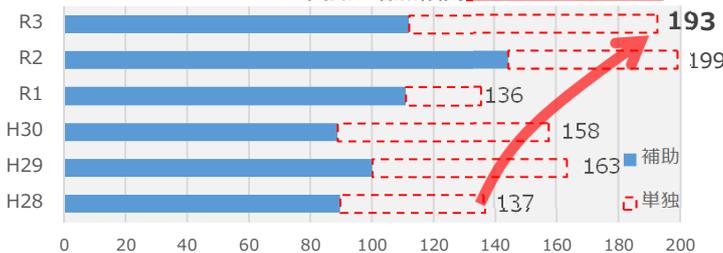
▼除排雪の現状と課題

○除雪予算の推移（H28～R3）

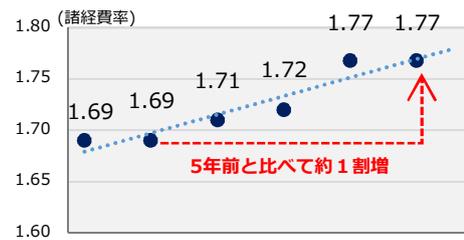
※R3の除雪費は過去5ヶ年の平均値から算出した見込額

◇労務費や諸経費率の増加により除雪予算は年々上昇

※単独は増加傾向（道負担の増）



◇近年の除雪業務の諸経費率の推移



計算条件：直接工事費（5千万円、10千万円）に対して、諸経費率を年度毎で平均したもの（北海道建設部調べ）

◇排雪が滞った場合の道路利用者への影響を懸念



	H29年度	現在
全排雪単価	504 円/m ³	906 円/m ³

H29年度比約1.8倍

○排雪費用のコストは、年々増加傾向にあり、予算不足により、排雪回数の減少などサービス水準の低下が懸念されている。

サービス水準が低下すると...



車両のすれ違いが困難に!

すれ違えない!!

危険!!



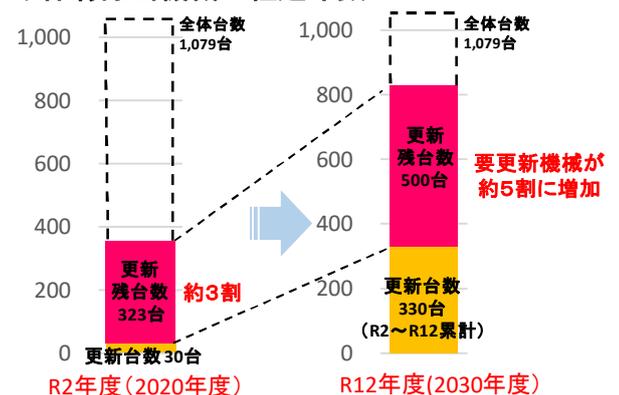
横断歩道の見通しが悪化!

車が見えないよ

危険!!

◇保有除雪機械の経過年数

単位：台



◇道路防災総点検(地吹雪)

防雪柵の整備状況 (R3.3末時点) N=157



北海道建設部調べ

【冬に強い道路施設等の整備】

▼根室半島線（根室市）



地吹雪による視距障害



防雪柵設置による視距障害解消

◎自然豊かな水辺環境づくり

河川環境の再生や自然に配慮した河川・砂防施設の整備など自然豊かな水辺環境の整備・保全

主な要望箇所

●自然豊かな水辺環境の整備・保全

- ・河道の連続性に配慮した砂防施設の整備 【居辺川（上士幌町）など】
- ・ラムサール条約登録湿地等における自然再生事業の推進
【釧路湿原・ヌマオロ地区（標茶町）、夕張川（南幌町）、久著呂川（標茶町など）など】
- ・良好な水辺環境の保全・創出を推進
【漁川（恵庭市）、網走川（網走市）、十勝川（帯広市）、利根別川（岩見沢市）、松倉川（函館市）など】
- ・緑豊かな水辺環境に配慮した砂防施設の整備 【蒜沢川（函館市など）など】
- ・在来植生に配慮した急傾斜地崩壊防止施設の整備 【旭川旭神3条1丁目（旭川市）など】

【ラムサール条約登録湿地の保全】

（釧路湿原への土砂流出防止対策）（久著呂川）



【良好な水辺環境の創出】

（利根別川かわまちづくり）（利根別川）



【緑豊かな水辺環境に配慮した遊砂地】

（蒜沢川）



【在来植生に配慮した急傾斜地崩壊防止施設】

（旭川旭神3条1丁目）



■地域の特色を活かした産業の活性化

◎広域観光を支えるネットワークづくり

快適な広域観光を支える観光拠点へのアクセス道路などの整備

主な要望箇所

●安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備

・観光拠点へのアクセス道路の整備

【北海道縦貫自動車道、北海道横断自動車道、旭川十勝道路 富良野北道路（中富良野町、富良野市）旭川十勝道路 旭川東神楽線（旭川市・東神楽町）、洞爺湖登別線（壮瞥町）など】

【広大な北海道の観光地をつなぐ交通ネットワーク整備を図り観光立国の実現に貢献】

■観光圏・広域観光周遊ルートへの認定

- (旧名称) 高規格幹線道路
 - 開通区間
 - - - 未開通区間
- (旧名称) 地域高規格幹線道路
 - 開通区間
 - 未開通区間
 - ○ ○ ○ 候補路線
- 北海道新幹線
 - 開通区間
 - - - 未開通区間

「日本のてっぺん。きた北海道ルート」

計画期間R2まで

「アジアの宝 悠久の自然美への道 ひがし北・海・道」

計画期間R1まで

北海道新幹線
新函館北斗～札幌間
(約212km)
2030年度末完成予定



利尻・礼文・サロベツ国立公園



ニセコスキー場



奥尻空港



新函館北斗駅 函館空港



函館山からの夜景
(世界三大夜景)



大船遺跡

北海道・北東北の縄文遺跡群



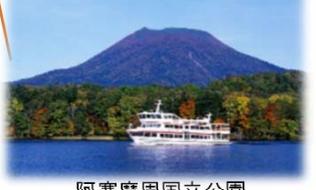
ウポポイ（民族共生象徴空間）



ラベンダー畑（中富良野町）



知床国立公園（世界自然遺産）



阿寒摩周国立公園



サイクリングロード（トカプチ400）

北海道の高規格道路

- R3年度新規事業箇所
- R3年度開通予定
- 4車線化優先整備区間 (4区間136km)
- R2年度事業許可・連結許可
- 計画段階評価箇所
- 新たな開通見通し公表箇所 (5か年対策プログラム(北海道ブロック版))

- 人口10万人以上の都市
- 総合振興局所在地
- 振興局所在地
- 一般国道

道央自動車道
和寒IC～士別釧路IC 16km
(対面通行区間 14km)

R3年度新規事業箇所
旭川・紋別自動車道
遠軽上湧別道路 L=13.8km

R2年度～計画段階評価を
進めるための調査区間
北海道横断自動車道
女満別空港～網走間

R3年度新規事業箇所
一般国道5号
創成川通 L=4.8km

道東自動車道
千歳車道JCT～十勝清水IC 123km
(対面通行区間 87km)

横断自動車道 倶知安余市道路
(仮称)仁木IC～余市IC 3.3km
R6年度 部分開通

R3年度 計画段階評価を
進めるための調査区間
北海道横断自動車道
蘭越～倶知安間

足寄～陸別間
当面着工しない
区間

横断自動車道 本別～釧路
阿寒IC～釧路IC 17.0km
R6年度 全線開通

R2年10月連結許可
釧路空港IC(仮称)

R2年10月事業許可
長流楼スマートIC(仮称)

R3年3月事業許可
道東自動車道
トマム～十勝清水約3.2km

日高自動車道 厚賀静内道路
日高厚賀IC～(仮称)新冠IC 9.1km
R7年度 部分開通

R1年度～計画段階評価中
日高自動車道
静内～三石間

道央自動車道
登別室蘭IC～伊達IC 23km
(対面通行区間 18km)

道央自動車道
国縫IC～八雲IC 22km
(対面通行区間 17km)

R3年度開通予定
函館・江差自動車道
北斗茂辺地～木古内 16.0km

凡例	
	高規格幹線道路(旧名称) 開通区間(4車線)
	開通区間(2車線)
	着手区間
	未着手区間
	地域高規格道路(旧名称) 開通区間
	着手区間
	未着手区間
	候補区間

北海道

施策や制度に関する要望

＜＜ 重点要望事項 ＞＞

■ 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の推進

関係各局

近年の激甚化・頻発化する地震や豪雨などの自然災害に対応するため、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を着実に進めるために必要な予算を安定的に確保するとともに、地方負担の軽減を図ること。

■ 本道の特性を生かしたカーボンニュートラルへの挑戦

住宅局

2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロの実現に向け、北方型住宅などの高断熱・高気密住宅の普及や技術開発などに対する予算の確保及び公営住宅における省CO2化を推進するため、創・省・蓄エネルギーの導入に係る経費の全額補助など、交付金制度の拡充を図ること。公共建築物において、徹底した省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入によるZEB化を加速させるため、活用可能な補助制度等を創設、拡充し、必要な予算を確保すること。

＜＜ 要望事項 ＞＞

■ 流域治水に係る制度の充実・強化や創設

関係各局

越水等が発生した場合でも被害を軽減する粘り強い堤防の整備を河川改修事業実施箇所以外においても推進できるよう交付金制度の拡充や、準用河川改修事業の事業費要件等の緩和と小規模河川の改修に対応した財政、技術支援制度の創設を図るとともに、「緊急浚渫推進事業」については、来年度以降も引き続き十分な地方財政措置を講じること、また、利水ダム等の事前放流に伴う都道府県が行う損失補填に要する経費については、地方負担が生じないよう、さらなる制度の拡充を図ることや直轄ダム事業に係わる都道府県負担金の軽減制度創設など、「流域治水」の取組に必要な財政支援を更に強化すること。

■ 社会資本の長寿命化に係る制度の充実・強化

都市局、水管理・国土保全局、住宅局

北海道では北海道インフラ長寿命化計画（行動計画）に基づき計画的な補修や更新を実施しているが、現行の交付金事業では事業費や施設の設置年次・規模など採択要件に制約があることから、すべての管理施設の法定点検や定期点検・診断・補修・更新が交付対象となるよう制度の充実強化を図るとともに、地方負担の軽減を図ること。

【採択要件緩和を要望する具体例】

- ・河川関係施設：排水機場等における非致命的な部材、月点検にかかる費用、堤防・河道の対策、水位計や監視カメラを含めた施設の維持管理等に係る費用
- ・砂防関係施設：昭和53年以降の技術基準により設計した砂防設備、高さ10m未満の急傾斜地崩壊防止施設
- ・公園施設：遊具の消耗部材の交換費用や、2ha未満の都市公園における遊戯施設以外の施設
- ・公営住宅：建物の予防保全に資する部材交換・修繕や設備の更新
- ・下水道施設：主要な管渠以外の末端管渠

■ 物流ネットワークの強化に係る制度の充実・強化

道路局

平常時・災害時を問わない安定的な物流を確保するため、重要物流道路の追加指定にあたっては地方の意見を十分に反映するとともに、IC・空港・港湾アクセス道路を含めた物流ネットワークの強化及び整備推進を図るため、補助制度の拡充等による財政支援の充実強化を図ること。

■ 維持管理等に係る財政支援の充実・強化や制度の創設

関係各局

地域の実情に応じた、維持管理に活用可能な交付金制度創設を図ること。また、公共施設等適正管理推進事業債については、時限措置を撤廃するとともに、依然として、財政支援対象となっていない施設もあることから、対象施設の拡充など財政支援の充実強化を図ること。

■ 除排雪に係る財政支援の充実・強化

道路局

冬期における円滑な交通確保のため、近年の労務費や諸経費等の上昇に伴う経費の増加を踏まえ除排雪等に必要な予算を確保するとともに、地域の実情に応じた交付金の柔軟な執行に対応すること。また、少雪時でも除雪業者が経営を維持できるよう最低保証などの制度を創設すること。さらに、除雪体制を維持するため、老朽化が進行している除雪機械等の計画的な更新・増強が可能となるよう財政支援を強化すること。

■ 津波防災対策に係る制度の創設や財政支援の充実・強化

水管理・国土保全局

「津波防災地域づくりに関する法律」に基づく推進計画作成に対する財政支援制度の創設を図るとともに、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に備え、避難施設、避難路などの整備及び津波対策緊急事業について、必要な予算の確保や国費率の引上げにより、地方負担を軽減する財政支援の充実強化を図ること。

■災害関連緊急大規模漂着流木等処理対策事業に係る採択要件の緩和

水管理・国土保全局

河川洪水等により海岸に異常に堆積した漂着流木及びゴミ等を緊急的に除去する「災害関連緊急大規模漂着流木等処理対策事業」について、漂着量等の採択要件の緩和を図ること。

■災害復旧に係る財政支援の充実・強化

水管理・国土保全局

甚大な被害が発生した平成30年度の災害を受け、災害時の地方負担が課題となったことから、「査定設計委託費等補助制度」の国費率の引上げなど、財政支援の充実強化を図ること。

■土砂災害特別警戒区域の危険住宅に対する財政支援の充実・強化

水管理・国土保全局、住宅局

土砂災害特別警戒区域における人命の保全や民生の安全・安心を充実するため、危険住宅の改修や同地区外への移転など、離島地域を含め地域の実情を踏まえ必要な予算の確保や財政支援の充実強化を図ること。

■住宅・建築物の耐震化に係る財政支援の充実・強化

住宅局

耐震改修促進法の改正に基づき耐震診断結果が公表されたホテル等大規模建築物をはじめ、住宅や公共建築物の耐震化に要する多大な経費負担が課題となっていることから、必要な予算の確保や国費率の引上げなど、より一層の財政支援の充実強化を図ること。

■空き家等対策の推進に向けた支援の拡充

住宅局

空き家等の所有者等の責任の明確化、実効性を高めるための罰則の強化を、空家等対策推進特別措置法など関係法令において、位置づけること。

特定空家の除却のほか、空き家の幅広い用途での活用や今後空き家になることが懸念される住宅の所有者に対する意識啓発などについて、必要な予算の確保など財政支援の充実強化を図ること。

大規模空き建築物の所有者等関係者の調査・特定に必要な権限の付与や、行政代執行の費用回収強化措置、所有者の責務履行確保措置、空き建築物敷地の収容制度、応急処置への補助制度など必要な制度の創設のほか、解体・活用に必要な費用について、補助率の引上げや必要な予算の確保を図ること。

■新たな住宅セーフティネットの構築に向けた支援の拡充

住宅局

セーフティネット住宅の住宅改修や家賃の低廉化について、セーフティネット専用住宅としない場合にあっても対象とすることや、一定期間、住宅確保要配慮者の入居がない場合には一般の入居を認めるなど、補助の要件を緩和すること。

■原子力防災に係る財政支援の充実・強化

道路局

泊発電所の周辺道路は、自然災害との複合災害や過酷事故発生時の避難道路としても有効活用できることから、こうした道路の整備を早急に進めるため、国の負担割合を引き上げるとともに、除排雪を含めた維持管理に必要な予算を別枠で確保すること。

■災害対応等で重要な役割を果たす建設産業の担い手確保や育成への支援

土地・建設産業局

社会資本の整備や維持管理をはじめ、災害時における緊急対応など地域の安全・安心を担う建設産業が将来にわたり持続的に発展するためには、安定的な建設投資の確保や若年層の担い手確保・育成が喫緊の課題であることから、人材確保・人材育成・魅力ある職場づくりのための国による関係支援事業の推進や予算の確保を図るとともに、地域が主体となって行う担い手確保・育成の取組を支援する制度を創設すること。

■建築住宅行政におけるデジタル化の推進

住宅局

建築住宅行政における各種申請手続きのオンライン化や公共建築物の整備や維持管理におけるBIMの活用などのデジタル化を推進するための機器購入やネットワーク整備に対する財政支援の充実強化を図ること。

各種申請手続きのオンライン化が推進されるよう、許可証等の電子押印化など、手続きのデジタル化のために必要な法整備を図ること。

■北海道開発の枠組みの堅持

北海道局

北海道総合開発計画に基づき、北海道が将来にわたり我が国に貢献していくため、社会資本整備を総合的かつ着実に推進することができるよう開発予算の一括計上や北海道特例及びこれを担う、北海道局や北海道開発局の人員体制の維持・強化を図るなど北海道開発の枠組みを堅持すること。

北海道・北東北の縄文遺跡群



一万年前の縄文びとに出会う旅、
歩こう、おしま&いぶり縄文街道

③史跡 入江・高砂貝塚 (洞爺湖町)



史跡 キウス周堤墓群



①史跡 キウス周堤墓群 (千歳市)

史跡 入江・高砂貝塚

史跡 北黄金貝塚



②史跡 北黄金貝塚 (伊達市)

史跡 鷺ノ木遺跡



④史跡 鷺ノ木遺跡 (森町)

史跡 大船遺跡

史跡 垣ノ島遺跡



⑥史跡 垣ノ島遺跡 (函館市)



⑤史跡 大船遺跡 (函館市)

北海道は世界遺産登録を目指しています！



ひとと、ちいきと、あしたへ。
北海道の建設業

